

**第2回「(仮称)第2次札幌市立高校教育改革方針の策定に向けた検討会議」
第3回「(仮称)第2次札幌市立高校教育改革方針の策定に向けた検討ワーキング
グループ会議」**

合同開催

令和8年3月31日

1. これまでの流れ

検討会議

【1回目】R7.12.26

高校教育の状況やこれまでの取組の共有、各委員の立場からの意見共有



WG会議



【1回目】R8.1.26

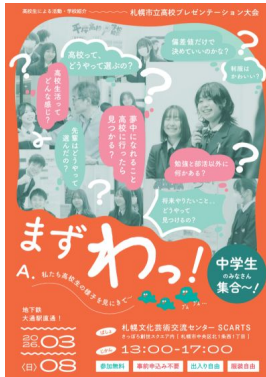
高校教育の状況やこれまでの取組の共有、各委員の立場からの意見共有



各委員による、改革方針に係る「基本的方向性」及び「主な事業・取組」(案)事前検討

【2回目】R8.2.27

各委員の検討案を基に、改革方針に係る「基本的方向性」及び具体的な「主な事業・取組」内容検討



R8.3.8 市立高校プレゼンテーション大会

本日 検討会議・WG会議 合同開催

2. WG会議で提案された意見①

市立高校で育む生徒の姿・育成を目指す資質・能力

- 多様性を受け入れ、他者と協働できる生徒。
- 夢や目標の実現に向けて、主体的に学び、探究できる生徒
- 自ら問いを立て、学びの軌跡を描く生徒(自律)
- 境界を超えて響き合い、新たな価値を共創する生徒(越境)
- 自分らしく社会と関り、未来を切り拓く生徒(参画)
- 「さっぽろっ子」として、地域・社会・世界を繋ぐ
- 自立した札幌人として札幌で学び、自分と札幌、社会の未来を語れるさっぽろっ子
- 自己、他者、社会とのつながり、個人と社会のウェルビーイングを考える豊かさを捉えなおす
- 学んだこと(個々の知識、体験、経験)を社会課題解決に活用する
- 他者と協働して、先の見えないことも乗り越えようとする力、想像力と創造力
- 協働し、探究し、未来を切り拓く人
- 未来に向かって新たな価値を創造し、主体的に学び続ける生徒
- 自他の良さや可能性を認め合い、しなやかに自分らしさを発揮する生徒
- ふるさと札幌に誇りを持ち、持続可能な社会の発展に向けて行動する生徒

2. WG会議で提案された意見②

市立高校で育む生徒の姿・育成を目指す資質・能力を具現化するための3つの基本的方向性

- 1 生徒の個性や能力を伸ばす質の高い教育の充実
- 2 社会と共にある 教育活動の推進
- 3 学校・教職員の取組を支える仕組みの構築

- 1 新しい時代に対応する「学びの質」の向上
- 2 学校の枠を超え、社会とつながる学びの推進
- 3 多様な生徒を支え、持続可能な高校の体制の構築

- 1 生徒の個性や能力を伸ばす質の高い教育
- 2 社会に開かれた教育 活動の一層の推進
- 3 学校の取組を支える仕組みの構築

- 1 生徒が学びたいと思える学びの魅力化
- 2 地域社会に必要とされる学び場としての学校の位置付けの明確化
- 3 学校と札幌の未来を考えることができる仕組みづくり

- 1 質の高い教育の充実
- 2 社会に開かれた教育
- 3 学校の取組を支える仕組み

- 1 自 (自ら考えて行動しよう)
- 2 恩 (感謝しよう)
- 3 徳 (徳をつもう)

2. WG会議で提案された意見③

市立高校で育む生徒の姿・育成を目指す資質・能力を具現化するための主な事業・取組

現行方針と重なる内容は黒字、新しい内容は青字

- ・生徒が社会課題の解決策をプロトタイプする「共創の場」の構築
- ・探究的な学び(市立高校モデル)の確立
- ・市立ブランド科目の設置や夏休みの「探究合宿」
- ・地域協働プロジェクト学習の全校展開 札幌の街を教材に、企業・行政と生徒が対等なパートナーとして取り組むプロジェクト
- ・市立高校フェスタ・プレゼン大会 市立高校の学びの発信・共有「社会に自らの仮説を投げかける」場
- ・専門性の高い教員による授業を他校共有
- ・進路探究セミナー
- ・単位制高校間連携事業「この学校に通いながら、あの学校でも学べる」相互履修の本格運用
- ・外国語教育の充実
- ・異文化理解の充実 海外連携校・パートナー校との共同研究
- ・平和教育の充実
- ・カリキュラム・マネジメントの推進
- ・単位制導入校の拡大
- ・全国募集
- ・オンライン授業の充実
- ・概念学習
- ・札幌や実社会を教材とした実践的な学びの推進/地域貢献人材の育成
- ・社会・職業への円滑な移行に必要な力の育成(キャリア教育)
- ・学科・コースの充実/時代のニーズに応じた学科改編・設置の検討(新普通科など)
- ・国の研究開発事業の積極的活用
- ・国際バカロレア教育の推進
- ・市立高校卒業生サポーター制度
- ・新たな職業教育の推進
- ・数理・データサイエンス・AIなどを含むSTEAM教育を取入れた起業者精神の育成
- ・各校のグラジュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容の検討・実施
- ・校内支援体制の充実
- ・市立高校間・短期交換留学プログラム
- ・不登校経験者や外国籍等、多様な生徒の学びの場充実
- ・市立高校コンシェルジュによる広報支援 ターゲット(中学生・保護者)に合わせた魅力発信の強化
- ・専門人材・コーディネーター配置
- ・大学や企業等との連携・協働の強化(コンソーシアムの構築等)
- ・ふるさと納税を活用した資金獲得、専門業務を引き受ける外部組織の検討
- ・教員の実践研究や自律的な視察等への公費予算化と、教育活動に還元するための兼業・副業の柔軟な承認
- ・札幌ラウンドテーブル 学校を超えて学び合う実践知コミュニティ
- ・教職員の学びの場

①～③のWG会議で提案された意見 を踏まえて事務局整理

3. 事務局整理①(参考)

「市立高校で育む生徒の姿・育成を目指す資質・能力」と「それを具現化するための方向性」

継承と進化

現行のビジョンが持つ「主体性」「協働」「社会貢献」という三本の柱は、今もなお市立高校教育の根幹である。今回の改定では、これらを大きく変えるのではなく、「予測困難な時代を生き抜くための解像度を上げる」ことを目的としてはどうか。

検討ワーキンググループからの提案(青字部分)を反映し、現時点で事務局として整理

○ 自律的に探究する 生徒

「主体性」⇒ 与えられた課題をこなすだけでなく、「自ら問いを立てる(自律)」へ

「自ら問いを立てる」「学びの軌跡を描く」「自律的に探究する生徒」という要素を検討の方向性として加える。「与えられた課題をこなす主体性」から一歩進み、自ら課題を見つけ、自分なりの学び方を選択していく「自律(エージェンシー)」の力を重視。これは、変化の激しい社会で自ら航路を切り拓くために不可欠な力。参考:文科 OECDにおけるAgencyに関する議論について

○ 共感と共創を生み出す 生徒

「協働」⇒ 単なる協力から、異なるもの同士が繋がり新しい価値を生む「共創(越境)」へ

「境界を超える(越境)」「想像力と創造力」という要素を検討の方向性として加える。単に違いを認める段階を超え、自分とは異なる考えを持つ人や未知の分野と「境界を越えて」繋がり、新しい価値を共に生み出す「共創」の姿勢を追加。「想像力」を持って他者に共感し、「創造力」で課題を乗り越える姿を目指す。

○ 参画やウェルビーイングを追求する 生徒

「社会貢献」⇒ 外から貢献するだけでなく、自分事として「参画」し、「ウェルビーイング」を追求することへ

「さっぽろが大好きという気持ち」「未来を語る」「ウェルビーイング」という要素を検討の方向性として加える。貢献という言葉に留まらず、これからは自分も社会の一部として「参画」し、自分と社会のウェルビーイングを同時に追求する視点が重要。特に、札幌というフィールドで学び、自らの手で札幌の未来を語る「札幌人」としてのアイデンティティを明確に打ち出す。

3. 事務局整理②(参考)「市立高校で育む生徒の姿・育成を目指す資質・能力」と「それを具現化するための方向性」を3分類して整理

WG会議の意見を基に、改革の普及・浸透を図るため、「市立高校全体で取り組む内容」と「各学校が主体的に取り組む事項」を明確化し、「多様性(インクルージョン)」の視点、「持続可能性」への配慮に基づき、以下のようにして整理。

1 各学校が主体的に取り組む事項 →(各学校における生徒の学び)

- 各校のグラジュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容の検討・実施
- 学科・コースの充実 / 時代のニーズに応じた学科改編・設置の検討(新普通科など)
- 国際バカロレア教育の推進
- 数理・データサイエンス・AIなどを含むSTEAM教育を取入れた起業家精神の育成
- 新たな職業教育の推進
- 概念学習
- 外国語教育・異文化理解(海外連携校との共同研究)の充実
- 平和教育の充実
- 不登校経験者や外国籍等、多様な生徒の学びの場充実
- 校内支援体制の充実
- 札幌や実社会を教材とした実践的な学びの推進 / 地域貢献人材の育成
- 社会・職業への円滑な移行に必要な力の育成(キャリア教育)
- オンライン授業の充実

2 市立高校全体で取り組む内容 →(魅力ある市立高校)

- 市立高校フェスタ・プレゼン大会(市立高校の学びの発信・共有)
- 地域協働プロジェクト学習の全校展開(札幌の街を教材にしたプロジェクト)
- 生徒が社会課題の解決策をプロトタイプする「共創の場」の構築
- 探究的な学び(市立高校モデル)の確立
- 単位制高校間連携事業(「あの学校でも学べる」相互履修の本格運用)
- 専門性の高い教員による授業を他校共有
- 市立高校コンシェルジュによる広報支援(魅力発信の強化)
- 市立高校卒業生サポーター制度
- 市立高校間・短期交換留学プログラム
- 大学や企業等との連携・協働の強化(コンソーシアムの構築等)
- 国の研究開発事業の積極的活用
- 市立ブランド科目の設置や夏休みの「探究合宿」
- 進路探究セミナー
- 全国募集

3 持続可能な基盤づくり →(学校・教職員の取組を支える仕組み)

- カリキュラム・マネジメントの推進
- 教職員の学びの場
- 市立高校ラウンドテーブル(学校を超えて学び合う実践知コミュニティ)
- 教員の実践研究・視察への公費予算化と、兼業・副業の柔軟な承認
- 専門人材・コーディネーター配置
- ふるさと納税を活用した資金獲得、専門業務を引き受ける外部組織の検討
- 単位制導入校の拡大(柔軟な履修を可能にする制度整備)

各学校

WG会議の意見

生徒の個性や能力を伸ばす質の高い教育の充実
新しい時代に対応する「学びの質」の向上
生徒が学びたいと思える学びの魅力化
社会と共にある教育活動の推進 etc.

WG会議の意見

学校の枠を超え、社会とつながる学びの推進 etc.

市立高校共通・連携

WG会議の意見

学校・教職員の取組を支える仕組みの構築
多様な生徒を支え、持続可能な高校の体制の構築
学校と札幌の未来を考えることができる仕組みづくり etc.

土台 持続可能推進基盤

本日の協議テーマ

ワーキングで浮かび上がったアイデアを基に、以下の2点について議論をしていただきたい

1「市立高校で育む生徒の姿・育成を目指す資質・能力」の確認

P6の内容を参考に、今後の検討の方向性として妥当か、また不足している要素はないか等の観点から意見を出し合う。

2 札幌市立高校教育改革における 主な事業・取組の検討

P7の内容を参考に「市立高校で育む生徒の姿・育成を目指す資質・能力」を実現するために必要な施策について、既存の枠組みにとらわれず、さらに具体的なアイデアを出し合う。